

JAPAN Best Incentive Travel Awards 2017

“日本の伝統産業体験と 日本らしいあつらえでおもてなし”

日本政府観光局（JNTO）は世界各国の旅行会社やミーティングプランナーを対象にした「JAPAN Best Incentive Travel Awards 2017」を実施。2016年4月1日から今年3月31日までに実施されたインセンティブ旅行69件の応募から大賞、企画賞、貢献賞の3件の受賞を決定した。

受賞した3件のツアーは、日本ならではの特別な体験のできる内容で参加者のモチベーションを向上させ、開催地域との連携により地域への高い経済効果をもたらした。そこで今回は、企画賞を受賞したEVO COMMUNICATIONS社（シンガポール）のHarry Foo氏に話を聞いた。



EVO COMMUNICATIONS 社
Special events director / Show host
Harry Foo 氏

Global Leading Luxury Skincare Brand-Global Conference 2017-

化粧品メーカーが主催し、世界中の営業担当者が参加したツアー。参加者360名のうち数名を除いて女性であることから、会場には桜や鶴のモチーフで飾りつけ日本らしいあつらえを施し、おもてなし感にあふれたツアー内容が高評価を得た。4日間の旅程全て京都に滞在し、酒造りや着物の着付けなどを体験するとともに、インスタグラムを活用し「いいね」の数を競うプログラムを盛り込むなど、現代風の広報手法を用いて訪日インセンティブ旅行の認知度向上にも貢献。

— 受賞の感想をお聞かせ下さい

このような権威ある賞を受賞できたことは、世界13カ国、69社の応募の中から選ばれたので嬉しさはもちろん、大変名誉に感じております。社員一同のやる気がますます高まりました。

— 御社の業務内容などを教えて下さい

MIGE企画運営会社です。社員は皆MICEに情熱を注いでおり、専門ノウハウを持っています。マーケティングはもちろん、イベントプロモーション、エンターテインメント、技術的な分野での豊富な経験を駆使し、予算内で期待以上のイベントを制作しています。高品質のサービスで顧客のニーズに応える、つまり

〈Integrity & Professionalism〉をモットーとし、企画のコンセプト作りから運営まで一貫したサービスを提供しています。会社設立は2000年ですがすでに1,500件以上のイベントを制作しました。世界48カ国、3,000人のイベントのプロが加盟しているILEA（International Live Events Association）の会員（日本では1社（株）イベントサービスが加盟）であり、2003年シンガポールでイベント会社として初めてISO 9001を取得、高品質のイベントを提供しています。

— 今回の賞はどのようにして知りましたか。また京都がツアー場所に選ばれた理由は何でしょうか

JNTOのシンガポール事務所に京都の情報提供を求め

で連絡したのがきっかけです。賞についてのお知らせをメールでいただき、規定や対象分野を読み、資格がある、応募しよう、と決めエントリーしたのです。大きな賞だと思いましたので、受賞すれば今後のビジネスにプラスになると思いました。

場所の選定は歴史的な場所での文化的体験ができる場所として、また顧客の製品が「麴=こうじ」に起源があったので著名な酒蔵がある京都がふさわしいと思いました。顧客の工場が滋賀県にありそこへの訪問の目的もありました。

——今回一番苦労したことは何ですか

手配上大変だったのは着物体験です。360人分の着物、

草履、バッグなどが必要でしたが、ホテルの担当者が着付けの助手26名も含め協力してくれ、無事体験できました。

また橋、鳥居、提灯、酒樽、扇、障子など和風の装飾品が必要でしたが、それもイベント会社が用意してくれたほか、京都のコンベンションビューローも協力的でさまざまな連絡先につないでくれました。

——日本でのパートナー企業はどのようにして選びましたか

信頼できるイベント会社を選定するため、最初はネットで検索し、数社をパートナーとして検討しました。イベントの3カ月前に下見し、実際に彼ら全てと会い、当方の仕様通りのサービスはもちろん、細かい要求を満たせるかをFace to Faceで議論しました。



その結果、イベントサービス社なら安心して任せられると確信し、依頼しました。迅速な対応とサービス、細部にわたる気配り、流れるような仕事運びで、高く評価しています。

—日本はデスティネーションとしてどのように見られているのでしょうか

日本は訪問地検討ではいつも上位に挙がります。伝統的な文化と近代的なハイテクの双方を体験できるからです。着物、茶道、太鼓、日本酒、寺社、芸者、旅館などのユニークな体験ができます。もちろん食事も魅力の一つです。スシ、刺身、ラーメン、鉄板焼き、ふじりんご、白葡萄、メロン、もおすすりめですね。

—ありがとうございました



イベント制作者

(株)イベントサービス
霜越 永理香/金澤 寿有



「You write it down, we make it happen. (したいことを全て教えて。全部実現するから)」とEVOさんにまず伝えました。ホテル側の格別なご協力のもと、イベントプランナーとして現場で細部にわたる運営を行いました。そのため、今回のご受賞はまるで自分の事のように嬉しく感じています。EVOさんのご担当者は皆さんセンスも良く、要求も的確で私たちが楽しみながら仕事することができ、本当に幸せな体験になりました。EVOさんが日本で実施されるイベントで再度のご受賞に貢献できるよう、これからもがんばります。

イベント会場担当者

ウェスティン都ホテル京都
藤田 こず恵



この度、お泊りは客室約160室、そして会議・ガラディナーには1,650㎡の大宴会場「瑞穂の間」をご利用頂きました。

また、Team Buildingでは、村野藤吾氏により設計された「数寄屋風別館・佳水園」和室での着物の着付け体験、その後、日本庭園での写真撮影や、10畳3間の「東山の間」を酒蔵風にアレンジしての「麴づくり・試飲」などといった伝統産業体験を取り入れられました。今後も「ウェスティン都ホテル京都」ならではのMICE会場を、皆様にご提供できるよう努めてまいります。